

作業基準（大気汚染防止法施行規則第16条の4）

	項目	主語	作業基準																						
1	作業計画の作成	特定工事の元請業者又は自主施工者	<p>特定工事における特定粉じん排出等作業の開始前に、次に掲げる事項を記載した当該特定粉じん排出等作業の計画を作成し、当該計画に基づき当該特定粉じん排出等作業を行うこと。</p> <table border="1" data-bbox="627 327 1441 954"> <tr> <td data-bbox="627 327 663 405">イ</td> <td data-bbox="663 327 1441 405">特定工事の発注者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 405 663 450">ロ</td> <td data-bbox="663 405 1441 450">特定工事の場所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 450 663 495">ハ</td> <td data-bbox="663 450 1441 495">特定粉じん排出等作業の種類</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 495 663 539">ニ</td> <td data-bbox="663 495 1441 539">特定粉じん排出等作業の実施の期間</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 539 663 618">ホ</td> <td data-bbox="663 539 1441 618">特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分における特定建築材料の種類並びにその使用箇所及び使用面積</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 618 663 663">ヘ</td> <td data-bbox="663 618 1441 663">特定粉じん排出等作業の方法</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 663 663 707">ト</td> <td data-bbox="663 663 1441 707">次に掲げる事項</td> </tr> <tr> <td data-bbox="663 707 703 786">(1)</td> <td data-bbox="703 707 1441 786">特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の概要、配置図及び付近の状況</td> </tr> <tr> <td data-bbox="663 786 703 831">(2)</td> <td data-bbox="703 786 1441 831">特定粉じん排出等作業の工程を明示した特定工事の工程の概要</td> </tr> <tr> <td data-bbox="663 831 703 875">(3)</td> <td data-bbox="703 831 1441 875">特定工事の元請業者又は自主施工者の現場責任者の氏名及び連絡場所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="663 875 703 954">(4)</td> <td data-bbox="703 875 1441 954">下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所</td> </tr> </table>	イ	特定工事の発注者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名	ロ	特定工事の場所	ハ	特定粉じん排出等作業の種類	ニ	特定粉じん排出等作業の実施の期間	ホ	特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分における特定建築材料の種類並びにその使用箇所及び使用面積	ヘ	特定粉じん排出等作業の方法	ト	次に掲げる事項	(1)	特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の概要、配置図及び付近の状況	(2)	特定粉じん排出等作業の工程を明示した特定工事の工程の概要	(3)	特定工事の元請業者又は自主施工者の現場責任者の氏名及び連絡場所	(4)	下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所
イ	特定工事の発注者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名																								
ロ	特定工事の場所																								
ハ	特定粉じん排出等作業の種類																								
ニ	特定粉じん排出等作業の実施の期間																								
ホ	特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分における特定建築材料の種類並びにその使用箇所及び使用面積																								
ヘ	特定粉じん排出等作業の方法																								
ト	次に掲げる事項																								
(1)	特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の概要、配置図及び付近の状況																								
(2)	特定粉じん排出等作業の工程を明示した特定工事の工程の概要																								
(3)	特定工事の元請業者又は自主施工者の現場責任者の氏名及び連絡場所																								
(4)	下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所																								
2	掲示	特定工事の元請業者又は自主施工者	<p>特定工事における特定粉じん排出等作業を行う場合は、公衆の見やすい場所に次に掲げる要件を備えた掲示板を設けること。</p> <table border="1" data-bbox="627 1032 1441 1420"> <tr> <td data-bbox="627 1032 663 1077">イ</td> <td data-bbox="663 1032 1441 1077">長さ42.0cm、幅29.7cm以上又は長さ29.7cm、幅42.0cm以上であること。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 1077 663 1122">ロ</td> <td data-bbox="663 1077 1441 1122">次に掲げる事項を表示したものであること。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="663 1122 703 1211">(1)</td> <td data-bbox="703 1122 1441 1211">特定工事の発注者及び元請業者又は自主施工者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="663 1211 703 1301">(2)</td> <td data-bbox="703 1211 1441 1301">特定工事が届出対象特定工事に該当するときは、特定粉じん排出等作業の実施の届出年月日及び届出先</td> </tr> <tr> <td data-bbox="663 1301 703 1346">(3)</td> <td data-bbox="703 1301 1441 1346">特定工事の元請業者又は自主施工者の現場責任者の氏名及び連絡先</td> </tr> <tr> <td data-bbox="663 1346 703 1391">(4)</td> <td data-bbox="703 1346 1441 1391">特定粉じん排出等作業の実施の期間</td> </tr> <tr> <td data-bbox="663 1391 703 1420">(5)</td> <td data-bbox="703 1391 1441 1420">特定粉じん排出等作業の方法</td> </tr> </table>	イ	長さ42.0cm、幅29.7cm以上又は長さ29.7cm、幅42.0cm以上であること。	ロ	次に掲げる事項を表示したものであること。	(1)	特定工事の発注者及び元請業者又は自主施工者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名	(2)	特定工事が届出対象特定工事に該当するときは、特定粉じん排出等作業の実施の届出年月日及び届出先	(3)	特定工事の元請業者又は自主施工者の現場責任者の氏名及び連絡先	(4)	特定粉じん排出等作業の実施の期間	(5)	特定粉じん排出等作業の方法								
イ	長さ42.0cm、幅29.7cm以上又は長さ29.7cm、幅42.0cm以上であること。																								
ロ	次に掲げる事項を表示したものであること。																								
(1)	特定工事の発注者及び元請業者又は自主施工者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名																								
(2)	特定工事が届出対象特定工事に該当するときは、特定粉じん排出等作業の実施の届出年月日及び届出先																								
(3)	特定工事の元請業者又は自主施工者の現場責任者の氏名及び連絡先																								
(4)	特定粉じん排出等作業の実施の期間																								
(5)	特定粉じん排出等作業の方法																								
3	作業の記録	特定工事の元請業者又は自主施工者又は下請負人	<p>特定工事における施工の分担関係に応じて、特定工事における特定粉じん排出等作業の実施状況^(※)を記録し、これを特定工事が終了するまでの間保存すること。</p>																						
4	作業が適切に行われていることの確認	特定工事の元請業者	<p>3の規定により各下請負人が作成した記録により特定工事における特定粉じん排出等作業が1に規定する計画に基づき適切に行われていることを確認すること。</p>																						
5	除去又は囲い込み等の完了の確認	特定工事の元請業者又は自主施工者	<p>特定工事における特定建築材料の除去、囲い込み又は封じ込め（以下この号において「除去等」という。）の完了後に（除去等を行う場所を他の場所から隔離したときは、当該隔離を解く前に）、除去等が完了したことの確認を適切に行うために必要な知識を有する者に当該確認を目視により行わせること。ただし、解体等工事の自主施工者である個人（解体等工事を業として行う者を除く。）は、建築物等を改造し、又は補修する作業であって、排出され、又は飛散する粉じんの量が著しく少ないもののみを伴う軽微な建設工事を施工する場合には、自ら当該確認を行うことができる。</p>																						
6	作業の方法		<p>前各号（1～5）に定めるもののほか、別表第7の中欄に掲げる作業の種類ごとに同表の下欄に掲げるとおりとする。</p>																						

(※) 別表第7の1の項中欄に掲げる作業並びに6の項下欄イ及びハの作業を行うときは、同表の1の項下欄ハ、ニ、ヘ及びトに規定する確認をした年月日、確認の方法、確認の結果（確認の結果に基づいて捕集等の措置を講じた場合にあつては、その内容を含む。）及び確認した者の氏名を含む。

作業基準（大気汚染防止法施行規則 別表第7（第16条の4関係））

	作業の種類	作業基準
1	<p>特定建築材料が使用されている建築物其他工作物（以下「建築物等」という。）を解体する作業のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等を除去する作業（次項及び5の項に掲げるものを除く。）</p>	<p>次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等に使用されている特定建築材料を除去するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。</p> <p>イ 特定建築材料の除去を行う場所（以下「作業場」という。）を他の場所から隔離すること。隔離に当たっては、作業場の出入口に前室を設置すること。</p> <p>ロ 作業場及び前室を負圧に保ち、作業場及び前室の排気に日本産業規格Z8122に定めるHEPAフィルタを付けた集じん・排気装置を使用すること。</p> <p>ハ イの規定により隔離を行った作業場において初めて特定建築材料の除去を行う日の当該除去の開始前に、使用する集じん・排気装置が正常に稼働することを使用する場所において確認し、異常が認められた場合は、集じん・排気装置の補修その他必要な措置を講ずること。</p> <p>ニ 特定建築材料の除去を行う日の当該除去の開始前及び中断時に、作業場及び前室が負圧に保たれていることを確認し、異常が認められた場合は、集じん・排気装置の補修その他の必要な措置を講ずること。</p> <p>ホ 除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。</p> <p>ヘ イの規定により隔離を行った作業場において初めて特定建築材料の除去を行う日の当該除去の開始後速やかに、及び特定建築材料の除去を行う日の当該除去の開始後に集じん・排気装置を使用する場所を変更した場合、集じん・排気装置に付けたフィルタを交換した場合その他必要がある場合に随時、使用する集じん・排気装置の排気口において、粉じんを迅速に測定できる機器を用いることにより集じん・排気装置が正常に稼働することを確認し、異常が認められた場合は、直ちに当該除去を中止し、集じん・排気装置の補修その他の必要な措置を講ずること。</p> <p>ト 特定建築材料の除去後、作業場の隔離を解くに当たっては、特定建築材料を除去した部分に特定粉じんの飛散を抑制するための薬液等を散布するとともに作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行った上で、特定粉じんが大気中へ排出され、又は飛散するおそれがないことを確認すること。</p>
2	<p>建築物等を解体する作業のうち、石綿含有断熱材等を除去する作業であって、特定建築材料をかき落とし、切断又は破碎以外の方法で除去するもの（5の項に掲げるものを除く。）</p>	<p>次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等に使用されている特定建築材料を除去するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。</p> <p>イ 特定建築材料の除去を行う部分の周辺を事前に養生すること。</p> <p>ロ 除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。</p> <p>ハ 特定建築材料の除去後、養生を解くに当たっては、特定建築材料を除去した部分に特定粉じんの飛散を抑制するための薬液等を散布するとともに作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行うこと。</p>
3	<p>建築物等を解体、改造又は補修する作業のうち、石綿を含有する仕上塗材を除去する作業（5の項に掲げるものを除く。）</p>	<p>次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等に使用されている特定建築材料を除去するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。</p> <p>イ 除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。（ロの規定により特定建築材料を除去する場合を除く。）</p> <p>ロ 電気グラインダーその他の電動工具を用いて特定建築材料を除去する時は、次に掲げる措置を講ずること。</p> <p>(1) 特定建築材料の除去を行う部分の周辺を事前に養生すること。</p> <p>(2) 除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。</p> <p>ハ 特定建築材料の除去後、作業場内の特定粉じんを清掃すること。この場合において、養生を行ったときは、当該養生を解くに当たって、作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行うこと。</p>

	作業の種類	作業基準												
4	<p>建築物等を解体、改造又は補修する作業のうち、石綿を含有する成形板その他の建築材料（吹付け石綿、石綿含有断熱材等及び石綿を含有する仕上塗材を除く。この項の下欄において「石綿含有成形板等」という。）を除去する作業（1の項から3の項まで及び次項に掲げるものを除く。）</p>	<p>次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等に使用されている特定建築材料を除去するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。</p> <table border="1" data-bbox="644 241 1439 904"> <tr> <td data-bbox="644 241 684 327">イ</td> <td data-bbox="684 241 1439 327">特定建築材料を切断、破碎等することなくそのまま建築物等から取り外すこと。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="644 327 684 495">ロ</td> <td data-bbox="684 327 1439 495">イの方法により特定建築材料（ハに規定するものを除く。）を除去することが技術上著しく困難なとき又は建築物等を改造又は補修する作業に該当するものとして行う作業の性質上適しないときは、除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="644 495 684 701">ハ</td> <td data-bbox="684 495 1439 701">石綿含有成形板等のうち、特定粉じんを比較的多量に発生し、又は飛散させる原因となるものとして環境大臣が定めるもの（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）にあつては、イの方法により除去することが技術上著しく困難なとき又は建築物等を改造又は補修する作業に該当するものとして行う作業の性質上適しないときは、次に掲げる措置を講ずること。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="644 701 684 741">(1)</td> <td data-bbox="684 701 1439 741">特定建築材料の除去を行う部分の周辺を事前に養生すること。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="644 741 684 781">(2)</td> <td data-bbox="684 741 1439 781">除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="644 781 684 904">ニ</td> <td data-bbox="684 781 1439 904">特定建築材料の除去後、作業場内の特定粉じんを清掃すること。この場合において、養生を行ったときは、当該養生を解くに当たって、作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行うこと。</td> </tr> </table>	イ	特定建築材料を切断、破碎等することなくそのまま建築物等から取り外すこと。	ロ	イの方法により特定建築材料（ハに規定するものを除く。）を除去することが技術上著しく困難なとき又は建築物等を改造又は補修する作業に該当するものとして行う作業の性質上適しないときは、除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。	ハ	石綿含有成形板等のうち、特定粉じんを比較的多量に発生し、又は飛散させる原因となるものとして環境大臣が定めるもの（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）にあつては、イの方法により除去することが技術上著しく困難なとき又は建築物等を改造又は補修する作業に該当するものとして行う作業の性質上適しないときは、次に掲げる措置を講ずること。	(1)	特定建築材料の除去を行う部分の周辺を事前に養生すること。	(2)	除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。	ニ	特定建築材料の除去後、作業場内の特定粉じんを清掃すること。この場合において、養生を行ったときは、当該養生を解くに当たって、作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行うこと。
イ	特定建築材料を切断、破碎等することなくそのまま建築物等から取り外すこと。													
ロ	イの方法により特定建築材料（ハに規定するものを除く。）を除去することが技術上著しく困難なとき又は建築物等を改造又は補修する作業に該当するものとして行う作業の性質上適しないときは、除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。													
ハ	石綿含有成形板等のうち、特定粉じんを比較的多量に発生し、又は飛散させる原因となるものとして環境大臣が定めるもの（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）にあつては、イの方法により除去することが技術上著しく困難なとき又は建築物等を改造又は補修する作業に該当するものとして行う作業の性質上適しないときは、次に掲げる措置を講ずること。													
(1)	特定建築材料の除去を行う部分の周辺を事前に養生すること。													
(2)	除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化すること。													
ニ	特定建築材料の除去後、作業場内の特定粉じんを清掃すること。この場合において、養生を行ったときは、当該養生を解くに当たって、作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行うこと。													
5	<p>建築物等を解体する作業のうち、人が立ち入ることが危険な状態の建築物等を解体する作業その他の建築物等の解体に当たりあらかじめ特定建築材料を除去することが著しく困難な作業</p>	<p>作業の対象となる建築物等に散水するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。</p>												
6	<p>建築物等を改造又は補修する作業のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等に係る作業</p>	<p>次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等の部分に使用されている特定建築材料を除去若しくは囲い込み等を行うか、又はこれらと同等以上の効果を有する措置を講ずること。</p> <table border="1" data-bbox="644 1240 1439 1693"> <tr> <td data-bbox="644 1240 684 1361">イ</td> <td data-bbox="684 1240 1439 1361">特定建築材料をかき落とし、切断又は破碎により除去する場合は1の項下欄イからトまでに掲げる事項を遵守することとし、これら以外の方法で除去する場合は2の項下欄イからハマまでに掲げる事項を遵守すること。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="644 1361 684 1482">ロ</td> <td data-bbox="684 1361 1439 1482">特定建築材料の囲い込み等を行うに当たっては、当該特定建築材料の劣化状態及び下地との接着状態を確認し、劣化が著しい場合又は下地との接着が不良な場合は、当該特定建築材料を除去すること。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="644 1482 684 1693">ハ</td> <td data-bbox="684 1482 1439 1693">吹付け石綿の囲い込み若しくは石綿含有断熱材等の囲い込み等（これらの建築材料の切断、破碎等を伴うものに限る。）を行う場合又は吹付け石綿の封じ込めを行う場合は、1の項下欄イからトまでの規定を準用する。この場合において、「除去する」とあるのは「囲い込み等を行う」と、「除去」とあるのは「囲い込み等」と読み替えることとする。</td> </tr> </table>	イ	特定建築材料をかき落とし、切断又は破碎により除去する場合は1の項下欄イからトまでに掲げる事項を遵守することとし、これら以外の方法で除去する場合は2の項下欄イからハマまでに掲げる事項を遵守すること。	ロ	特定建築材料の囲い込み等を行うに当たっては、当該特定建築材料の劣化状態及び下地との接着状態を確認し、劣化が著しい場合又は下地との接着が不良な場合は、当該特定建築材料を除去すること。	ハ	吹付け石綿の囲い込み若しくは石綿含有断熱材等の囲い込み等（これらの建築材料の切断、破碎等を伴うものに限る。）を行う場合又は吹付け石綿の封じ込めを行う場合は、1の項下欄イからトまでの規定を準用する。この場合において、「除去する」とあるのは「囲い込み等を行う」と、「除去」とあるのは「囲い込み等」と読み替えることとする。						
イ	特定建築材料をかき落とし、切断又は破碎により除去する場合は1の項下欄イからトまでに掲げる事項を遵守することとし、これら以外の方法で除去する場合は2の項下欄イからハマまでに掲げる事項を遵守すること。													
ロ	特定建築材料の囲い込み等を行うに当たっては、当該特定建築材料の劣化状態及び下地との接着状態を確認し、劣化が著しい場合又は下地との接着が不良な場合は、当該特定建築材料を除去すること。													
ハ	吹付け石綿の囲い込み若しくは石綿含有断熱材等の囲い込み等（これらの建築材料の切断、破碎等を伴うものに限る。）を行う場合又は吹付け石綿の封じ込めを行う場合は、1の項下欄イからトまでの規定を準用する。この場合において、「除去する」とあるのは「囲い込み等を行う」と、「除去」とあるのは「囲い込み等」と読み替えることとする。													